

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
記載すべき事項はない。
2. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 1. その他の有価証券 …… 時価のないものは移動平均法による原価法によっている。
 2. 満期保有目的の債券 …… 償却原価法(定額法)によっている。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
 - (3) 引当金の計上基準
貸倒引当金 …… 債権の貸倒による損失に備えるため、過去の貸倒れの実績を勘案し算出した額を計上している。
退職給付引当金 …… 期末退職給与の会社都合要支給額に相当する金額を計上している。
 - (4) リース取引の処理方法
ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
 - (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	4,707,000	181,350	621,000	4,267,350
減価償却引当資産	1,558,682	0		1,558,682
小計	6,265,682	181,350	621,000	5,826,032
合計	6,265,682	181,350	621,000	5,826,032

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	うち指定正 味財産から	うち一般正 味財産から	うち負債に 対応する額
特定資産				
退職給付引当資産	4,267,350	0	0	4,267,350
減価償却引当資産	1,558,682	0	0	1,558,682
小計	5,826,032	0	0	5,826,032
合計	5,826,032	0	0	5,826,032

6. 担保に供している資産
該当事項なし
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当事項なし
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項なし
9. 保証債務等の偶発債務
該当事項なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	BS上の 記載区分
補助金	おかやま県民文化祭 実行委員会	0	13,171,000	13,171,000	0	
補助金	まちアートマネジメント講座 実行委員会	0	1,908,724	1,908,724	0	
補助金	岡山県	0	436,519	436,519	0	
助成金	岡山県	0	13,905,245	13,905,245	0	
補助金	マルセンスポーツ・文化振 興財団	0	150,000	150,000	0	
補助金	岡山県教育会	0	100,000	100,000	0	
補助金	福武教育文化振興財 団(文化連盟事業)	0	1,000,000	1,000,000	0	
補助金	福武教育文化振興財 団(天プラ事業)	0	1,000,000	1,000,000	0	
補助金	日本芸術文化振興会	0	300,000	300,000	0	
補助金	日本教育公務員弘済 会岡山支部	0	100,000	100,000	0	
補助金	岡山カルチャーゾーン 連絡協議会	0	50,000	50,000	0	
補助金	天プラ文化振興会	0	650,000	650,000	0	
指定管理料	岡山県	0	66,410,000	66,410,000	0	
合計		0	99,181,488	99,181,488	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
 該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 該当事項なし

14. 関連当事者との取引の内容
 該当事項なし

15. 重要な後発事象
 該当事項なし

16. その他
 該当事項なし

附属明細表

1. 基本財産及び特定財産の明細
 財務諸表の注記に記載している

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,707,000	181,350	621,000		4,267,350